

フィットテストについて

フィットテストとは、金属アーク溶接作業などで発生する溶接ヒュームへの暴露による労働者の健康障害防止の為、呼吸用保護具（マスク）が適正に装着され、漏れなどが無いことを確認するためのテストです。

2023年4月1日から、1回/年の頻度で溶接ヒューム作業者のフィットテストを行い、記録を3年間保管することが義務付けられました。

フィットテスト実施者について

フィットテストは厚生労働省により出された教育実施要領に基づき、この教育カリキュラムを受け十分な知識及び技能を有するものが実施します。アサヒテクノロジーでは、技能者講習を受けた作業環境測定士がマスクの正しい装着方法の指導を行い、適正な装着をすることで、作業者を健康障害から守り、また可能な限りフィットテストが不合格にならないように努めます。

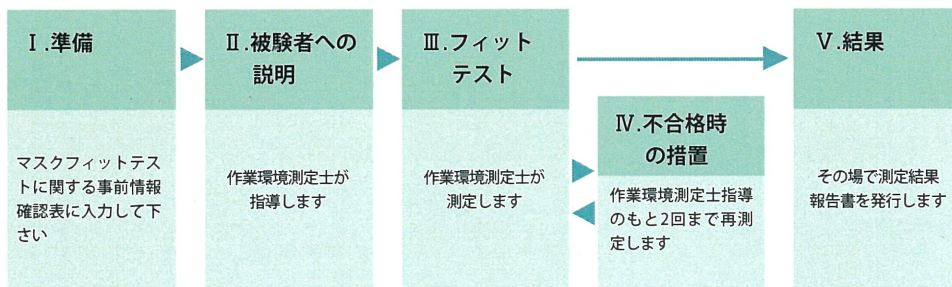
フィットテスト実施方法

フィットテスト実施方法には、『定性的フィットテスト』と『定量的フィットテスト』があります。アサヒテクノロジーでは、『定量的フィットテスト』として、最も精度良く、短時間で測定可能な凝縮核カウンターを用いた、光散乱方式を採用しています。また、フィットテスト実施後、測定結果報告書を発行致します。不合格になった場合も、技能講習を受けた作業環境測定士が指導し、その場で再テストを実施します。ただし3回の測定を実施し、不合格の場合は、マスクの形状が作業者に適合しないとみなし、テスト不合格になるため、ご注意ください。

フィットテストの流れ



マスクフィットテスター
「AccuFIT 9000」



フィットテストの事前準備

フィットテストにはご使用のマスクに適合するアダプターを準備する必要があります。アサヒテクノロジーでは、事前に、ご使用のマスクメーカー、マスクの型式及びサイズを専用の事前調査表にご記入頂くことにより、実費で事前にアダプターの手配を致します。使い捨て式マスクを除いて、一度ご購入されたアダプターは次年度以降もご使用可能です。

フィットテスト事前確認事項

- ①会社名、住所、部署、連絡先、ご担当者様氏名等ご依頼者の情報をご記載下さい。
 - ②使用しているマスク情報をご記載下さい。（マスクメーカー、種類、型式、サイズ）
 - ③被験者の情報をご記載下さい。（氏名、部署名、眼鏡の着用有無）
- ※ご入力いただいた情報がそのまま測定機等に転送されます。

マスクフィットテストに関する事前情報確認表

▼ 顧客情報

依頼者名（会社名）			
依頼者住所	〒		
担当部署	TEL		
	FAX		
担当者氏名	Eメール		
被験者会社名	※依頼者と異なる場合記載		
被験者会社住所	〒 ※依頼者と異なる場合記載		

▼ マスク情報

※業務に使用しているマスクの情報を下表に記入してください。

被験者氏名		番号	部署名	マスク				眼鏡の有無
姓	名			メーカー名	型式(製品モデル名)	サイズ	種類	
【例】アサヒ	太郎	1	溶接 1 課	3M、興研、重松	8805-DS2	SMLフリー	半面形、全面形、使い捨て形	眼鏡有
		1						
		2						
		3						
		4						
		5						
		6						
		7						

備考：	試験会場名	
	試験会場住所	〒

